

科目名称	日常生活活動学
授業コード	BG205
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	奥田 裕, 安田 耕平
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	日常生活活動 (Activities of daily living ; ADL) の概念、障害、評価、支援機器について基礎的な知識を修得し、日常生活活動について理解を深める。  キーワード ; ADLの概念、ADLの分類、ADLの評価、基本動作、複合動作、生活関連動作、QOL、ICF
科目に関連する実務経験と授業への活用	臨床の現場で長年理学療法士として従事してきた教員が、その経験を活かして、日常生活活動の概念、評価方法、支援機器などについての講義を行う。
到達目標	本学のディプロマ・ポリシーに掲げる理学療法学に関する知識を身につけることを目標とする。具体的には以下の項目の習得を目指す。 ・日常生活活動に関する理学療法士国家試験に準拠した専門的知識を習得できる。 ・理学療法士に必要な理学療法学における日常生活活動の位置づけと、その背景となる医療との関係について理解する。 ・日常生活活動の概念、および評価、支援機器を含めたその活用法について理解する。 ・健常者と障害者との相違点を認識し、障害者の日常生活活動の方法について理解する。
計画・内容	第1回 日常生活活動の概念 担当：奥田 (理学療法士)/ 安田(理学療法士) 第2回 日常生活活動の評価(総論) 担当：奥田 / 安田 第3回 日常生活活動の評価(代表的評価指標) 担当：安田 / 奥田 第4回 日常生活活動の評価(実践) 担当：安田 / 奥田 第5回 基本動作(寝返り、起き上がり) 担当：奥田 / 安田 第6回 基本動作(立ち上がり、歩行) 担当：奥田 / 安田 第7回 歩行補助具 担当：奥田 / 安田 第8回 車椅子・座位保持装置 担当：安田 / 奥田 第9回 歩行補助具実技 担当：奥田 / 安田 第10回 車椅子・座位保持装置実技 担当：安田 / 奥田 第11回 日常生活用具・自助具 担当：奥田 / 安田 第12回 セルフケア(食事、整容、更衣) 担当：安田 / 奥田 第13回 セルフケア(排泄、入浴) 担当：安田 / 奥田 第14回 まとめ 担当：奥田 / 安田 第15回 身体活動量 担当：安田 / 奥田
授業の進め方	スライドや配布資料を使用し、教科書に沿って講義する。 個人課題、課題に対するグループ学修も実施。 必要に応じて実技演習も実施する。

授業の進め方	
能動的な学びの実施	グループ学修や実技演習を適宜行うことで、学生の能動的な参加を期待できる。
授業時間外の学修	予習：授業前に予め教科書の該当箇所を読み、不明な点をまとめておくこと（各回1時間～2時間） 復習：教科書やプリントと関連付けて自分の講義ノートを整理すること（各回1時間～2時間）
教科書・参考書	【教科書】臼田滋編集「Crosslink理学療法学テキスト 日常生活活動学」メジカルビュー 石井慎一郎「動作分析 臨床活用講座 バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践」メジカルビュー 【参考書】鶴見隆正,他編集「標準理学療法学専門分野日常生活活動学・生活環境学」医学書院 千住秀明 監修「日常生活活動（ADL）第2版」神陵文庫
成績評価方法と基準	定期試験(100%)により評価する。 なお、出席状況、授業態度、授業内テスト、授業内課題等についても、成績評価に加味する。
課題等に対するフィードバック	小テスト,レポートに関しては、適宜フィードバックを行う。
オフィスアワー	Campus Squareを参照
留意事項	シラバスに従い、事前に教科書を必ず熟読し予習すること。 自前のノートを作成すること。 実習の際は、動きやすい服装で出席すること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	オンライン上で双方向性の講義を行う。 定期試験(100%)にて評価する。状況に応じて、対面・非対面の実施方法は検討する。